

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくり」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例

5年生 稲刈り

1, 2年生 サツマイモほり

3年生 黄粉づくり



例年、農業体験部会の委員さんが所属する「保々の自然に親しむ会」の方々や地域で農業に従事される方にご協力をいただき米作り体験やサツマイモの苗植えと芋ほり、枝豆や大豆の収穫体験、収穫した大豆を使った黄粉づくりや豆腐作りを行ってきました。今年度は感染症拡大の影響により、これらの活動をすべて実施することは困難ではありましたが、感染症防止対策を図りながら、稲刈り体験、サツマイモの芋ほり、学年園での大豆作りや大豆を使った黄粉作り体験などを実施し、子どもたちは農業体験に取り組みました。保々地区の農業や豊かな自然を体感するとともに、農業振興や自然保護に携わる地域の方の願いを知り、自分の住む地域や自然を大切にしようとする生き方づくりを進めてきました。

②年間2回の環境整備を実施し、教育活動を支える活動事例

環境部会とPTAが連携をしながら、環境整備作業を行っていただきました。9月に2回、運動会に向けた運動場周辺の除草作業を行っていただきました。子どもたちがきれいな環境でまた安心して運動会に取り組めるようにしていただきました。

(2) コミュニティスクール（学校運営協議会）の取組による効果

学校評価児童アンケート「学校は楽しいですか」は肯定的な回答率は89.6%（昨年度88.7%）

と若干ですが向上しました。また、「いろいろなことをやってみたいという気持ちがありますか」は肯定的な回答率が93.5%と年々向上してきています。「自分のよいところがわかりますか」の肯定的な回答率は、78.0%（昨年度79.1%）でした。「読書をするのが好きですか」では73.7%（昨年度77.4%）と8割をやや下回る肯定的回答となりました。しかしながら、学校での子どもたちの姿は落ち着いており、19のアンケート項目のうち15項目が、85%以上の肯定的回答率となっています。子どもにとって、楽しい学校とはどんな学校なのか、子どもたち、そして保護者の方、地域の方とともに考えていきたいと思えます。

また、学校評価保護者アンケート「学校は保護者の方や地域の方が、授業に参加する機会を設けていると思いますか」では、肯定的な回答率は93.9%（昨年度96.5%）と若干減少しましたが、感染症拡大の影響による制限が加えられる中で非常に高い結果を維持しています。

今後も保護者の方・地域の方と連携し、仲間とともに豊かな感性、やりきる態度、生き抜く基礎を育む学校づくりをめざしていきます。

3 今後に向けて

学校の感染症や熱中症の予防対策についてご理解をいただきながら、可能な範囲で授業参観や「保々のつどい」の参観等を実施しました。学校運営協議会委員の方々から、今後も保護者の方や地域の方に学校の教育活動に関心を持っていただき、新たな方に参画していただけるような取り組みや機会を拡充させていってほしいとご意見をいただきました。

来年度以降も可能な限り、活動・学習を充実させ、地域から学んでいきたいと考えています。また、小学校での四日市版コミュニティスクールの組織や取り組みを基本にして、小中一体となって保々地区の方々といっしょに子どもたちの教育環境条件の整備等を進めていくことが確認されました。